

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 吉川市

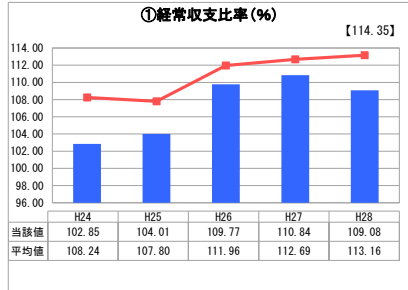
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	79.68	99.98	2,430	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
71,584	31.66	2,261.02
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
71,770	31.66	2,266.90

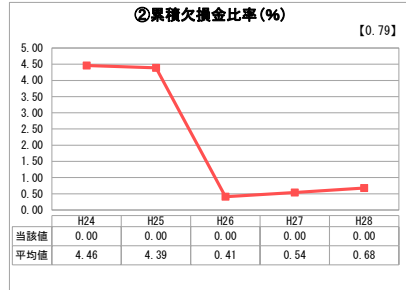
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

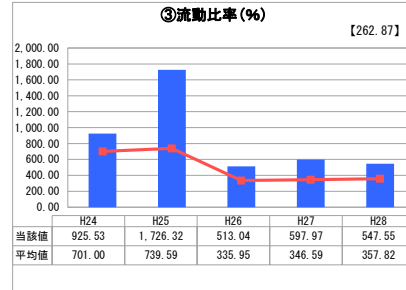
1. 経営の健全性・効率性



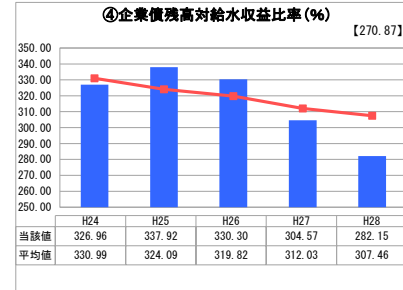
「経常損益」



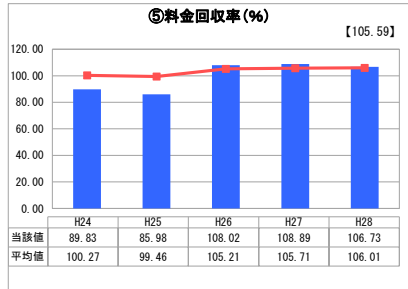
「累積欠損」



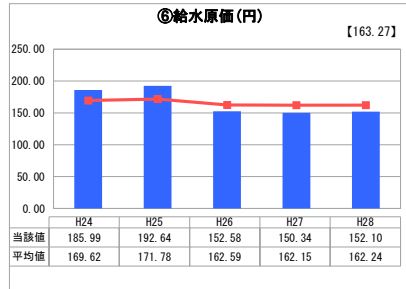
「支払能力」



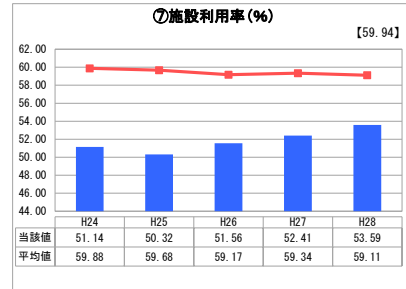
「債務残高」



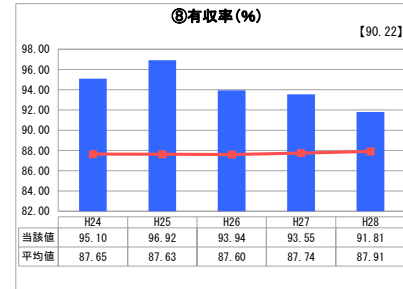
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

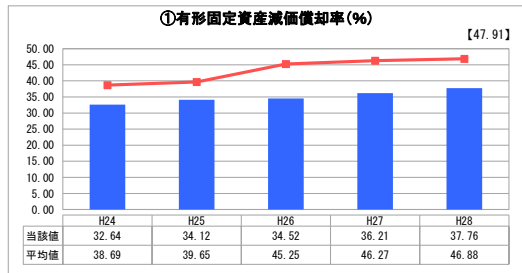
1. 経営の健全性・効率性について

- ・①経常収支比率⑤料金回収率については両指標ともに基準値である100%を上回っており、収支は健全な水準にあると言えます。しかしながら全国平均及び類似団体平均値で比べると下回るか、同水準の数値となっています。将来的には給水人口の減少、一人当たりの使用水量の減少が予想されるので、さらなる経営の効率化が必要です。
- ・②累積欠損比率については累積欠損が無いため適正な数値となっています。
- ・③流動比率については基準値である100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力を有していると言えます。
- ・④企業債残高対給水収益比率は企業債残高の減少に伴い数値が下がっています。しかしながら、今後の水道施設の更新需要に伴う企業債の借入の有無によっては、数値が変化する可能性があります。
- ・⑥給水原価については全国及び類似団体平均値と比較して下回っており、前年度と同様の水準を維持しております。
- ・⑦施設利用率は類似団体と比較してやや低い数値となっていますが、年々増加傾向にあります。
- ・⑧有収率は全国平均及び類似団体平均値に比べ、高い数値を示しています。しかしながら、平成28年度は施設利用率が増加した一方で数値が減少、また平成25年度以降は継続して減少傾向にあります。今後はその要因を調査、分析することで、効率性の向上に取り組んでまいります。

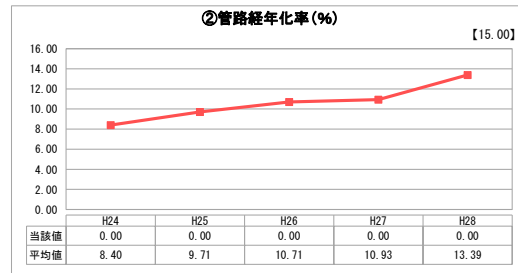
2. 老朽化の状況について

- ・①有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を下回っていますが、年々増加してきています。計画的な老朽化は避けられないため、更新等について計画的に行ってまいります。
- ・②管路経年化率については、法定耐用年数を超えた管路がないため、適正な数値となっております。
- ・③管路更新率については、平成27年度に引き続き市街化区域内の工事が主となり、市民生活への影響を考慮する必要があったことから、前年度と同様の数値となっております。

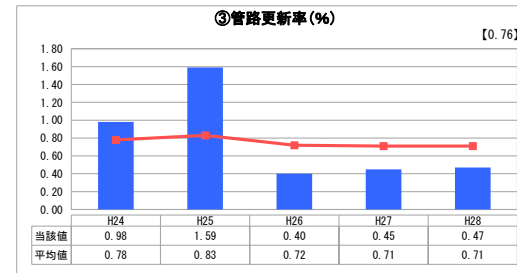
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

各指標において、基準値を下回ることなくおおむね安定した経営状況にあると言えます。しかしながら経常収支比率、料金回収率、有収率が減少傾向にあり、給水原価が微増していることから、今後はさらなる効率的な事業運営が求められていきます。今後策定予定である「経営戦略」においてはこの結果を踏まえ、将来にわたる財政計画、投資計画を明確化するなど、効率的な事業運営に努めてまいります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。